

週報

2015~2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1066 回(12 月 15 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 我らの生業
第 2 副 SAA 栗原(憲)君 栗原(成)君

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	30名	82.86%	63.64%

パスト会長の時間

宮岡宏太郎パスト会長

久しぶりに例会に参加をさせて頂きまして、本当にありがとうございます。私も 4 年半前にいるま野農協の代表理事組合長を引き受けることになりまして、大変な激務と聞いておりましたのでロータリークラブを退会させて頂きたいと言ったのですが、「少し経てば戻ってくるのだから、退会するな。出席は免除だから退会だけはないでなんとか頑張るよ。」という皆さんの声に、本当に図々しくもお言葉に甘えまして、会員でありながらご迷惑をお掛けしていることに本当に申し訳ないと思っております。服役期間はあと 1 年半ということで、これから真面目にやっていたら 1 年半後には無罪放免でまた皆さんの仲間になれるかなと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。



今日はパスト会長の時間という事でお邪魔した

わけですが、先ほど会長からお話がありました通り、10 日(金)の夜に母が亡くなりました。94 歳なので歳に不足はないのですが、1 年ちょっと点滴だけの意識不明状態で、痰の吸引等非常に苦しんだのを見ておりましたので、楽になって良かったと心から今思っているところでございます。松浦さんには私の都合で何度もプログラムを変更して頂き、また今回も変更して頂くのでは申し訳ないと思っておりましたが、なんとか都合がつきそうなので今日は頑張るまいりました。そんなわけであまり準備もしておらず、上手くいくかわかりませんが宜しくお願ひ致します。

このパスト会長の時間とは、実は私が会長になった時に苦し紛れに、会長の時間を毎回話すというのは結構大変なもので、なんとか先輩の経験豊かな会長さんにも少しお助け頂きたいということで設けることに致しました。良かったのかはわかりませんが、やはり今まで続けているということは歴代の会長が助かっている部分もあるのではないかと考えて、ろくなことをしないことで有名ですが、一つくらい良いことをしたのではないかと今思っているところでございます。

皆さんのお手元に狭山元気大学の講演の冊子がございます。今年の初め頃に頼まれて講師で行った時のものなのですが、こんな本になると思わず、1 時間半だということで適当に話せばいいやと資料もたいて準備をせずやったものが録音され本になったということで、弱ったなと思ひました。中身を見てみますと、皆さんもご承知の狭山商工

会議所会長の清水武信君、狭山、特に入間地方の歴史に詳しい、元市議会議員の広沢謙一先生との非常に良いお話も載っており、他の方の講義の内容が非常に良いので、私の話のレベルは低いのですがお持ち致しました。こうした本はなかなか読んで頂けないということで、なるべく皆に配って欲しいということでしたので、配る位は私もできるかなとお持ちしました。暇がありましたらご一読頂ければ有り難く思います。

この時の講義は、狭山の農業について話しているかと思えます。狭山の昔の話をして欲しいといわれましてもまだ私も70歳で、物心ついた時には精々10歳くらいですので、それ以降の話しかまだできないのですが、いずれに致しましてもやはりオリンピック前後からこの狭山地方は激変したということが歴史でございます。

ちょうど私が高校在学中に16号国道、ロッテの所が、旧道からバイパス工事をしていたかなと思えます。昭和35~36年にあの16号国道のバイパスができたような記憶がございます。あれから狭山の方も工業団地、狭山団地等ができて、非常に今の形に激変したという記憶を持っております。ここにも色々かいてありますが、狭山は今最大時16万人までいったものが減少傾向になっておりまして、これからどう抑えていくかという事が狭山の市政の一番の要になっていくのではないかと思います。鉄道がど真ん中を通っている割には、狭山は元気がないかなと、私も10市3町全て見ておりますので、ここに清水君も書いておりますが、役所とは許認可権を持っているので、そこを上手く使って戦略を考えていけば、そんなにお金がなくてもある程度できるのではないかと考えております。この頃小谷野市長さんとも会う機会も多くありますので、そこら辺の所は我々先輩として話が出来るかなと、思っているところでございます。

どんな話をしようかと思いましたが、私は農協の組合長ですので、今問題になっている農協改革、TPPのお話を少しさせて頂きたいと思えます。皆さんもご承知の通り、農業とはそんなに簡単に所得が倍になったりできるような仕事ではありません。それはやはり自然を相手にする仕事でございまして、皆さんがご存知の直近の気象状況をみ

ても、8月以降の豪雨で鬼怒川が氾濫し、あのような大きな水の被害があったかと思うと、その後9月以降、今年はエルニーニョ現象と言っておりますが、温かくて雨量も適当にあり、非常に今良い天候状態が続いております。しかし天候が良いと今度は豊作、そして気温が温かいために、今1月に採れるものがどんどん前倒しで、暮れに採れる野菜が11月に採れてしまっております。この間私もいるま野の販促で大田市場、それから横浜の丸中市場に行ってきましたが、12月の初めでブロッコリーや大根があふれかえっているのです。このように天候が良ければ良かったで、今度は豊作貧乏、生産過剰というものが一気に出て、天候が悪ければ悪くて今度はあつという間に採れないということになりますので、自然を相手にしている事業とはそう簡単に、計算通りにはいかないものなのです。そこの対策をしっかりとしなければ、国民の皆様が安定した農産物を供給するという事は非常に難しいのです。

特に今一番問題になっているのは、TPP問題もそうですが、一番日本の基幹農業の生産でございます米の問題です。一つは国民がもう米を食べないのです。平成に入る少し前、27~28年前までは国民一人当たり、1俵60kgですが、2俵近く食べていたのです。しかし今は1人当たりが1俵を切ってしまうのです。それでパンや他のものを食べているのです。

ヨーロッパに行くといつも思うのですが、スイスにしても、オランダにしてもイタリアにしても国の環境、農業を本当に大事にしているのです。そのため高くても本当に皆国のものを大事に食べるようにしているのです。ヨーロッパはほとんど皆自由化されていて、価格政策で補填をしているのですが、それにしても国民の意識が全く違うのです。日本人のように食料はいつでもある、景色なんかはタダだと思っている感覚とは違い、ヨーロッパの人のポリシーは、やはり勝ち取った民主主義のため、これは自分達で守らなければいけないという意識があり、全然違うのです。日本人のように、米が余って困っているのに平気でパン等を食べる、その様な感覚はヨーロッパにはないのです。ヨーロッパは勝ち取った民主主義ですが、日本人は原

爆を落とされて民主主義だと言われるくらいなのです。

GHQ が日教組という少し共産主義のような人に民主主義を教えさせたという占領政策で、「欲しがりません勝つまでは」、「武士は食わねど高楊枝」というような誇り高き国民を、今皆さんどうでしょう、皆国にやって下さい、これして下さい、という要求ばかりの国民にしてしまいました。そして今度の消費税、今所得税は全て累進税ですが、消費税とは皆から等しく取るための税金なのです。それを軽減税率等言っているわけです。本当にこれから、農業の問題もそうですが、国民も変な方向にいつてしまうのではないかと心配しております。

TPP 問題と農協改革が今言われておりますが、この米をしっかりと日本の国民は守っていかないと、何かあった時にこの米があれば何とかありますし、そして米は稲作が始まって千何百年と長い間作っても、連作障害がないのです。他の農産物は連作障害が出るのですが、米はこのように高温多湿の日本の国土にぴったり合っておりまして、毎年黄金の実りを生んでくれています。今大体 800 万トンくらいの生産量なのですが、それを 15,000 円で買っても金額的には 1 兆 6 千億円位なのです。これを国家である程度値段を確保して作ってもらうようにすれば、米を守れば、米さえあれば、もしアメリカの原発にイスラムが突っ込んでも、フランスの原発に突っ込んでもヨーロッパがおかしくなっても、なんとか食料だけは確保できると思うので、そこら辺だけはなんとか国民合意でやっていかなければいけないのかなと私は思います。この TPP の問題等も、私はこれから国民の皆さんに訴えていく運動をしていかなければ、農協も政府ばかりに訴えるのではなく、国民の皆さんに訴え、そして国民の皆さんに理解してもらって、米と自然環境を、この日本の豊かな自然を守っていく方向を国民合意で考えていく時代が来たのではないかと考えております。

そんなにお金がかかることでもないのに、今まで農家が守ってきたこの緑豊かな日本の自然を、これからは恐らく高齢化等で守れなくなってしまうので、今度は国民の皆さんと一緒にコンセンサスをもってやっていく運動が大切だと思っております。

ます。農家もこれから国民向けの PR というものを考えていこうかと思っております。

幸い狭山のほうはまだなんとなく後継者もいて、もう少し頑張れると思いますが、いずれやはりそのような時代が、これから 20 年 30 年先には来ると思いますので、国民の皆さんと一緒に考えながら、農業と豊かな日本の自然をどう守っていくのか、これを考える時が来たのかと思っております。皆で自然を守っていく、米だけは本当に皆で守っていく時代がきたのかなというお話をさせて頂き、終わりにしたいと思います。

幹事報告

小島幹事

1. ロータリー: 国際大会でお会いしましょうのメッセージと写真について。
2. 第 2570 地区クラブ奉仕部門セミナー(第 3 回) についてのご案内について。
3. ロータリー財団「海外派遣」派遣年度 2017/7/1 ~2018/6/30 奨学生募集ポスター掲示について。
4. 地区 社会奉仕部門並びに地域社会奉仕委員長より、交通安全啓発・幟旗事業管轄警察署訪問日程について
5. 地区クラブ奉仕部門・会員増強委員長より 会員増強アンケートのお願いについて。
6. ロータリーコーディネーターニュース 2016/1 号
7. 埼玉県共同募金会狭山市支会より、平成 27 年度歳末たすけあい募金運動へのご協力をお願いについて。
8. 例会臨時変更 所沢 RC
9. 受贈会報 入間 RC 所沢 RC 入間南 RC 所沢西 RC
10. 回覧物 RI 日本事務局財団室 NEWS 2015 年 12 月号
一般財団法人比国育英会バギオ基金より、2014 年度事業報告書について
ハイライトよねやま 189
AAR ニュース 12 月号

委員会報告

R 情報・雑誌委員会

宮野ふさ子委員長

「ロータリーの友」12月号

【横書】

40頁：以前から言われておりますロータリーの国際大会、5月26日～6月2日ですが、今日までに登録するとどうも割引になるようです。私も今日帰ったらすぐに登録致しまして、折角近いので国際大会に参加したいなと思っております。

【縦書】

9頁：長野県松本市とありまして、私は嬉しくなっていました。実は私、青春時代の4年間を松本市で過ごさせて頂きました。ここに出ております、音楽・山岳・学問、「三ガク」の町というところの、学問と言いましてもそんなに勉強はしませんでした。信州大学という所で4年間勉強させて頂きました。嬉しくなつてずっと写真を見ていたのですが、9頁の一番下の右端に、川越にある蔵造りのような蔵があります。松本の場合には川越のように並んではおらず、このような小さな蔵が大きなビルの中にポツン、ポツンとありまして、ここでお土産屋さんやお蕎麦屋さんをやっております。その隣は松本の女鳥羽川という所で、私は浅間温泉に住んでいたのですが、ちょうど浅間温泉のほうから駅の方とずっと街中を流れており、鳥の首のような、白鳥のような感じで流れているとても綺麗な川です。この周りには当時ヤギが何匹も放し飼いされていた記憶があります。上は皆さんご存知の松本城でございます。

次のページをめくると、ロータリーで建てた記念碑のような時計台の写真があります。これは私がいるときにはありませんでしたので、最近の物かなと思います。

山岳の土地ということで、12頁に山などが出ておりますが、私の行っている時には何せ山岳に行きたい人が多くて、5階建て位の校舎の上からいつもロープが下がっていて、誰かが登る練習をしていたのを今でも覚えております。

他にもロータリーの友には色々ありましたが、これが嬉しくなつてしまいこの話をしましようということで、今日はこのお話で終わらせて頂きます。

「会員卓話」・・・・・・・・

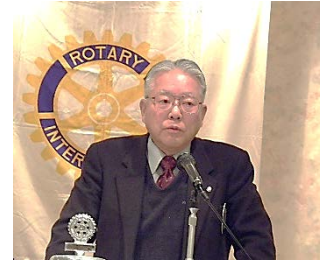
田中八束会員

皆さんこんにちは。

会員卓話の前に、実は私地区の社会奉仕部門委員長という役を引き受けております。社会奉仕部門では今年新しく、今10人以下のクラブが沢山できてしましまして、なかなかクラブとして社会奉仕活動ができていないという状況がございまして、本来は地区の社会奉仕部門は直接事業するのではなく、皆さんに社会奉仕活動について啓蒙するような部門なのですが、社会奉仕部門で音頭を取って、各クラブで実行して頂けるような事業を色々模索し、そしてガバナーがエレクトの時代から何かやりたいということもございまして、その中で今回交通安全の啓発幟旗運動、幟旗と言いますとごくりふれたものなのですが、ロータリーと警察がタイアップをして行うという、ここが一番の焦点でございます。

今回実はそのことで私どもは予算要求を致しましたけれども、部門予算のほうにばっさり切られました。ではやらなくていいのかなと思いましたが、その後どうしてもやりたいということで、特に警察の交渉その他で、ガバナーノミニに就任致しました栗原さんが、県会議員さんで警察委員の方を社会奉仕部門に送り込んできまして、交渉役をしてくれたということもありましたので、予算の部分では非常に苦しい所なのですが、実行することとなりました。そういったわけで各クラブの皆さんには大変なご厄介をお願いしております。ロータリークラブ独自に道路の美化運動、お花を植える等色々なことを沢山やっておりますが、ロータリーだけがやったのでは浮き上がってしまつて、地域にロータリーの考える活動が浸透していかないということでございまして、地域社会、今回の場合は大きな組織で警察をターゲットに致しまして、何か事業をしようということで幟旗になりました。

12月22日に益子さんに警察に出向いて頂いて、協議をし、幟をどのようにするかということが決



まると思います。とりあえずの所はお配り致しました資料の通り、私の名前でこのように事業を行うという事に伝わっておりますので、私自ら、幟旗につきましてはとりあえず 50 本分をニコニコに出します。狭山中央ロータリークラブの名前で 50 本の旗は用意をして頂いて、警察を通じて交通安全協会と、或いは青少年 PTA の母の会等そのような団体に寄付をして頂き、色々なところに掲げて頂きたいと思います。そして警察の方でもうこれで十分だということであれば、皆さんの事業所に旗を掲げて頂きたという事がまずお願いでございます。

これは社会奉仕部門からのお願いということになりますが、私がおこがましくも地区の代表をしておりますので、ぜひ応援をして頂きたいと思えます。ご協力宜しくお願い致します。

今日の卓話で何を話そうかと思ったのですが、ロータリーでも沢山の活動があり、地区の方でも社会奉仕活動について啓蒙やお願いをしております。ポリオについては耳につくほどお聞きになったのではないかと思います。ポリオはもう絶滅するのではないかということですが、実はポリオはロータリーが始めたわけではなく、中国で 1980 年代にポリオが大きな流行を致しました。それを絶滅したのが JICA でございます。日本の JICA としてはたくさん予算がありますので、大きな予算をつけまして、中国では 1980 年代にポリオの生ワクチン投与の日という、接種の日を一斉につくり、全国何千万人が同じ日に摂取し、一気に根絶に近い状態になっていったということです。ただしポリオはもう絶滅すると言われておりますが、中国はまだ野生株のポリオの発生があるようです。

ポリオについては、JICA の中で WHO に入っている方たちが、まだまだポリオは中国だけでなくたくさんあるのだと、資金をどこか提供するところはないかということで、たまたま日本のロータリーに話が合ったものですから、日本のロータリーが支援をして、それで RI にとって大きな成果をあげる事業になったということでございます。ポリオ事業の発端は日本でございまして、ポリオについては、日本は非常に盛んでございます。

色々な社会奉仕活動がたくさんあるわけでござ

いますが、ヨーロッパにおいてはシェルターボックスという活動が盛んに行われております。シェルターボックスというのは、災害があったところに最初に送るテントと生活に必要な道具一式、食料・燃料は入っておりませんが、資料の通り色々ありとあらゆるものが入っております。10 人が半年、なんとかこれで仮住まいができるというテントの一式セットでございます。

2011 年の東北大震災で、国際ロータリーが最初に日本に支援したのがこのシェルターボックスでございます。このシェルターボックスはロータリーが直接やっているわけではなく、シェルターボックス協会、これはイギリスに本部がありまして、イギリスの海軍軍人さんが始められたと言われておりますが、そこに世界から基金を募り、ボックスを用意して、大体大人 2 人で持てる程度のボックスですが、そのボックスを送ります。日本では 3 月 11 日の地震の後 15 日には世界各地のデポから届いております。特にロータリーというのはありとあらゆる業種の方がおりますので、ロータリーの組織を通じまして、3 月 15 日には被災地に届き始めています。日本の RI はこちらのボックスを 2000 箱要求致しました。その結果 1760 数箱配られているのですが、その後同じ時期にフィリピンに水害が出てしまい、残りについてはフィリピンに回して欲しいという事でした。これはヨーロッパ、特にイギリスでは盛んということで、世界では確か十数万箱、どこかで何かがありますとまずはこのテントを配っております。

このシェルターボックス協会の組織運営は、実はロータリーが半分支援しているということです。その中に入っているテントを始めとした全てに、皆ロータリーのマークがついているということです。ところが問題もあるということで、その問題とは、どこどこに災害があったからシェルターボックスを送りたい、ということが通用しないのです。中国に地震があったからといって、そこに直接シェルターボックスを日本のロータリーが支援して送るというシステムができていないのです。何故かと言いますと、日本からきた資金については全てシェルターボックス基金に入ってしまうと、その中でシェルターボックス協会が適宜各国に配

布をするということになっているのです。直接できないということは、シェルターボックスに対する支援が、日本ではまだ出てこない原因になっているかと思います。しかし世界的にはこのシェルターボックスは、ロータリーが一番先に届けるボックスとなっております。

この中身は非常にユニークでございます。ボックスの中にはやハンマー等色々な物が入っておりますが、ユニークなのは子供たちのために塗り絵が入っているということです。これからはポリオについてもだんだん先が見えてきたということになってきましたので、シェルターボックスについて皆さんの関心が高まってくるのではないかと思います。

東北大震災の時には残念ながら、日本にはこうしたボックスをデポしておりませんでした。日本でこのボックスを調達しますと、だいたい今だと30~40万円位かかってしまうそうです。何年か前ですが、このボックスをインドで調達するとだいたいこのボックスワンセットが5万円くらいで調達できるということで、皆海外で調達をしており、日本にはデポがありませんでした。そのため東北大震災の時には即配れず、15日には配れていたという状況でございます。

ボックスの中身もユニークでしたが、ボックスのフタは実は裏返すとベビーベッドとして、或いは子供のお風呂に使えるという、色々と工夫されたものでございます。日本でも東北大震災の教訓で確か300箱位を日本のRIがデポしております。日本は非常に対応が良いですが、今何かあった場合行政が動き出す前に、ロータリーとしても活動しているという社会奉仕をしております。

シェルターボックスについては皆さん機会がありましたら知識を得て頂きたいと思います。先ほど申しました通り、ボックスを自分で調達して現地に送るということは今のシステムではできません。

少し話が変わりますが、実は私の父は戦死をしております。遺族会のほうからある資料が回ってきました。その資料とは、私は遺族会に入っておりますが、遺族会に法務省OBの方がおまして、自衛隊のほうから手に入った資料でございます。

皆さんハワイにはよくいかれると思います。真珠湾も見てきたと思いますし、戦艦アリゾナが沈んでおりますので、そこもよくご存知だと思います。実はその資料は、その真珠湾を攻撃した時の攻撃命令書でした。若い方はあまり興味がないかもしれませんが、ロータリーの会合に持っていくとコピーが欲しいと言う方が沢山おられる訳でございます。

この戦争によりまして、大きく世の中が変わったということで、この資料も公開される資料になりましたので、こんなこともあったかなという事でお配りを致しました。しかしこれも一旦はアメリカに全て押収されてしまった文書です。この沢山押してあるハンコが、一旦押収したという印だそうでございます。戦後70年になりましたが、山本元帥に軍令部の方から、12月8日の午前0時をもって攻撃の命令が出ていたということで、我々は本屋で読むことはあるのですが、どちらかというとこれは守屋先生の分野ですので、もし興味があれば読んでみて頂きたいと思います。卓話が12月でしたのでお話をさせて頂きました。

私はロータリーには不適格な、アルコールが全く駄目でゴルフができないという人間でして、卓話をさせて頂くことはおこがましいのですが、できましたらロータリーは外来卓話が原則でございます。私どもお話するのは是非炉辺会合で、例会はあくまでも自分の知識を取り入れるために外来卓話を本分としてやって頂く、そうしますと若い方がロータリーに入ってきたときに、自分の職業に対する情報を非常に求めている訳でございますので、ぜひそのような情報を得る機会として外来卓話を本分として頂きたいと思います。

お酒は飲みませんが炉辺会合には一生懸命出たいと思いますので、ロータリーの皆さんの後についていければよいかなということで、しばらくお付き合いさせて頂きたいと思います。

私いつも例会を休んでばかりおりますが、地区の方に出ている関係で、恐らく例会よりはるかに活動をしているとは思っています。なぜ出てこられないかといいますと、裁判所の調停員をしておりまして、調停員は来年3月で卒業という事になります。思いがけない経験をしたのですが、実は最高裁

判所で長官長賞と言うものを頂きまして、最高裁判所の中でランチパーティーをして頂きました。最高裁判所にこんなレセプション会場があるとは思いませんでした。なぜこのような部屋があるのか聞きましたところ、最高裁の職員が、海外の大使、公使が表敬訪問に来るので、そのためのレセプションの会場だと言っておりました。最高裁判所の中ですのでアルコールはでないのですが、今年は思いがけない機会がありました。

来年3月を過ぎますと例会もほぼ出られるようになると思いますので、宜しくお願い致します。



江原君 本日の会長の時間にお話しを頂きました、宮岡パスト会長には何かとお忙しいなか都合をつけて下さいました事、本当に有難うございます。また、田中八束会員の卓話楽しみにしておりますので宜しくお願い致します。

小島君 宮岡パスト会長、お話し楽しみにしておりました。田中(八)会員、会員の卓話宜しくお願いします。菊田様、例会を楽しんでいただければ幸いです。

浜野君 宮岡パスト会長、会長の時間宜しくお願い致します。田中(八)会員の会員卓話宜しくお願い致します。田端会員のご紹介で菊田邦彦様が見学にいらっしゃいました。是非、入会して頂く様お待ちしております。

稲見君 東工住宅社、代表取締役 菊田邦彦様、ようこそおいでいただきました。ロータリーを楽しんで下さい。宮岡パスト会長、田中(八)会員お話し楽しみです。

栗原(憲)君 早退させていただきます。

益子君 宮岡パスト会長、田中(八)会員、お話し楽しみにしていました。宜しくお願いします。

宮岡君 久しぶりに例会へ出席させていただき、お話しをすることになりました。よろしく宜しくお願いします。

松浦君 先日は秩父の夜祭とても楽しかったです。母に親切にして頂きましてありがとうございました。

佐藤君 師走のお忙しい中パスト会長の時間に宮岡パスト会長、会員卓話で田中(八)会員、本当にご苦労様です。勉強させていただきますので宜しくお願い申し上げます。

田端君 (有)東工住宅社 代表取締役 菊田邦彦様の入会のお手伝いさせて頂き、皆様のお仲間としてスタートさせていただく事に感謝申し上げます。

若松君 菊田邦彦さん、ようこそいらっしゃいました。ゆっくり楽しんで下さい。

夫人誕生祝 宮野君

